

※  
 コンテナというのは、鉄やアルミニウムでできたじょうぶで大きな長い箱です。中に貨物をつめて港まで運び、そのままクレーンでコンテナ船に積みこみます。港に着くと、なかみの検査をしてからすぐにトラックや鉄道に積みかえ、工場や市場やお店まで運びます。

「一度にたくさん何でも運べ、いろいろな大きさがある船・トラック・鉄道にもものせることができる」とても便利な貨物輸送用の世界共通の箱です。世界中の港で、さかんに使われています。

日本にやって来る大きなコンテナ船になると、船の長さが約400 mもあって1万1000個のコンテナを積むことができます。

2014年に、大阪港の夢洲と咲洲にあるコンテナターミナルと、世界の港との間で運んだコンテナの数は、長さ6 mのコンテナ（20 フィートコンテナ）を使ったとして計算すると、輸出と輸入を合わせておよそ217万個にもなります。輸入第1位の「衣服・身廻品・はきもの」もコンテナでやって来ました。

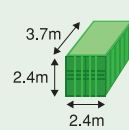


咲洲のコンテナターミナル

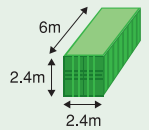
赤色でキリンの形をした機械がガントリークレーンで、コンテナの積みおろしに使われる

### いろいろな大きさ

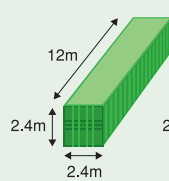
12フィート



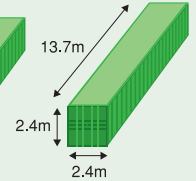
20フィート



40フィート



45フィート



※40フィートコンテナは大型バス1台と同じ大きさ

### いろいろな種類

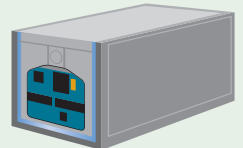
ドライコンテナ

生活用品などさまざまな貨物の輸送に使われる。数も一番多い。



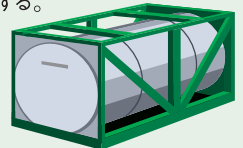
冷凍・冷蔵コンテナ

温度調節が可能で、主に生鮮・冷凍食品の輸送に使われる。



タンクコンテナ

油や薬品など、液体貨物を輸送する。



オープントップコンテナ

かさの高い貨物や重い貨物をクレーンで上から積みおろしできる。

